



アフガニスタンの 子どもたちに、未来を。



アフガニスタン活動報告会

2012年9月4日(火)

18:30~20:30 (開場18:00)

日時

場所

三菱商事本社ビル3階 会議室1~4
〒東京都千代田区丸の内二丁目3番1

定員・参加費・通訳

150名 / 無料 / 逐次通訳付

主催

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟

協力

三菱商事株式会社

お問い合わせ先

公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟
(担当:教育文化事業部 尼子・木村)

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-3-1 朝日生命
恵比寿ビル12F

【TEL】03-5424-1121 【FAX】03-5424-1126

※お申込方法につきましては裏面をご覧ください。

報告会テーマ

「いま、アフガニスタンの子どもたちが
置かれている状況」

発表者ご紹介



アレフ・ハシミ / カブール事務所所長
1960年ナンガラハール州生まれ。2002年、当連盟の支援するパキスタンのアフガン難民キャンプで務めたことをきっかけで職員に。



ヤマ・フェロジ / カブール事務所職員
1978年カブール市生まれ。2002年より当連盟職員に。内戦時代からタリバン時代にかけてカブール市内で過ごし、その間ロケット弾で家を吹き飛ばされたこともあったという。



グラム・カダール・シャフィカ
/カブール市第8地区寺子屋の識字教員
1967年カピザ州生まれ。4人の息子と3人の娘の母。内戦やタリバン政権時代に突入し、教育や就労の機会を奪われたが、その後教員資格を取得。2004年より現職。

現地だからこそ見える、 国際協力のいま！

アフガニスタン、 現地の子どもたち の生活は？



夏は47℃、冬は零下25℃。 過酷なキャンプ生活

都市の難民キャンプに住む帰還難民や国内避難民の人々。彼らは満足な衣食住さえ整わず、劣悪な生活環境の中で希望を見失っています。とりわけアフガニスタンの冬は寒く、カブールでも時として零下25度にまで下がります。

子どもたちが無事に冬を越し、安心して学校に通うためには、食料や医療のサポートが必要です。

世界が抱える教育 問題って？



ゴールは“自立”。 「世界寺子屋運動」で見えてきたもの

私たち日本ユネスコ協会連盟が1989年より取り組んでいる世界寺子屋運動。すべての人に無償の学びの場を提供するため、アフガニスタンでは2002年から活動しています。

当日は、アフガニスタンの現地職員や識字教員から、寺子屋の様子や子どもたちの現状について、生の声をお届けします。

日本ユネスコ協会連盟では、
アフガニスタンの子どもたちに未来を～アフガン難民の子ども支援募金～への、1000
人サポーターを募集しています！詳しくは、<http://unesco.or.jp/>をご覧ください。

報告会のお申込方法

以下2つの方法で受け付けております。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

1. Eメールでのお申込み

①お名前 ②Eメールアドレス ③ご住所 ④お電話番号 をご記入の上、[nfuj_web@unesco.or.jp](mailto:nfuaj_web@unesco.or.jp)までお送り下さい。
タイトルは「9月4日報告会申込み」としてください。（お問い合わせの場合は、「9月4日問い合わせ」としてください。）

2. FAXでのお申込み

以下項目をご記入のうえ、または03-5424-1126(FAX)までお送りください。

お名前

e-mail

ご住所 〒

お電話番号